

子どもの医療費

07年9月より



就学前まで

無料になります

新学期

少人数数学級も大きく広がります

いま鈴鹿市では、乳幼児医療費の無料化は「4歳未満児まで」となっています。3月議会で川岸市長は、対象年齢を「就学前まで」に引き上げると表明しました。子育て中の若い世代の市民には、うれしい知らせです。

12月議会で日本共産党の森川ヤスエ議員が、「隣の亀山市はすでに実施、四日市市も07年度に実施予定なのに鈴鹿市は遅れている」と実現を迫り、川岸市長も「どこまでできるか検討したい」と答えていました。実施時期は

本年9月の診療分からの予定です。長年のお母さんたちの願いが、一歩前進しました。森川議員は、「1歳引き上げると7千万円、就学前までで1億8千万円財政負担が増えると、市は渋っていました。鈴鹿市の財政力なら出来ないはずはないと頑張りました。次は、いったん払ってあとから戻る、面倒な『償還払い』方式から、『窓口無料』にさせることを求めています。」と語っています。



日本共産党市議団もがんばりました

小中学校のクラス編成での「少人数数学級」の取り組みも、この新学期から大きく進みます。35人以上の「過密学級」は、小学校1、2年と中学校はすべて解消、小3以上でも教室不足などの11学級を除いて解消されます。市費で非常勤講師の先生を多く採用しての改善です。

30人以下学級を求めてきた日本共産党の石田秀三議員は、「国・県が先生を増やさな

いのが問題なのですが、市として独自に出来る工夫をと求めてきました。さらに先生の働き過ぎをなくし、子どもたちに行き届いた教育を進めるためには、正規の先生を増やすことが一番です。」と語っています。

今年もまた市民税増税 2年連続で12億円も さらに6月から「税源委議」で17億円上乗せ



昨年につづき今年も、「定率減税廃止」で市民税が5億円も増えます。所得が1円も増えていないのに、昨年の高齢者増税2億円、定率減税半減5億円と合わせて、12億円もの負担増になります。

6月の課税時には、市民は昨年以上にビックリすることになりそうです。こんな庶民増税をすすめた自民・公明の政治に、こんどの地方選・参院選でキッパリ審判を下しましょう。

国会でも地方議会でも、庶民増税や負担増に反対をつらぬく日本共産党を伸ばして、暮らしを守りましょう。

日本共産党

鈴鹿市は、悪政から市民を守る

「防波堤」の役目を

- 国保税、介護保険料・自己負担の引き下げ・減免を
- 生活保護や就学援助を受けやすく
- 増税分を高齢者や子ども、福祉や教育の予算に回せ

市民の暮らしまでもって20年

気軽に相談、いっしょに解決



石田秀三

鈴鹿市議

日本共産党の石田議員は議会活動と共に、市民の生活相談活動も進めています。サラ金や税金、医療費や生活保護などの問題で困っている市民の相談に、気軽に応じいっしょに考え、解決のために奔走します。

また市民の声を聞く活動の中で、大事な問題は議会でも取り上げて改善を求めます。共産党の3400人の地方議員、国会議員団のネットワークで、全国どここの地域からの相談にも応じて、連携プレーで解決をはかっています。



「日本共産党」は

市民との

約束まもる 旗印です



「石田さんは支持するけれど、共産党はちよつと」「無所属でいた方が、地域のための活動がしやすくなるのでは?」「党名を変えたら?」などの意見がよく寄せられます。

石田議員は、「住民の苦難あるところ日本共産党あり」が立党精神、「世直しポランテア」だと考えています。党名を変えたり所属をコロナコ変える議員を信頼できますか? 日本共産党の名前は、住民との約束を決して裏切りませんという旗印です。どうぞ安心してご支持ください」と語っています。

苦しい日々、相談相手になってもらいました

東磯山在住 奥野敦子さん

私の主人は04年7月に脑梗塞で倒れ入院、それから2年半意識不明のまま、昨年12月に他界しました。

その間、私と子ども2人の生活はたいへん困窮し、地獄のような日々でした。そんな時に出会ったのが石田議員でした。生活保護や市営住宅の手続き、多重債務の処理、そして葬儀のお世話など、数え切れないほどの支援を受けて、なんとか人間らしい生活を送れるようになりました。

おだやかな春の陽だまりのような優しさと、どんな困難も解決していく強さをもつ石田議員は、私たち弱者の暮らしを守る、頼もしい味方です。



大水害、共産党のネットワークで助かりました

海山町(合併して紀北町) 相賀在住 二郷さん夫妻

04年9月29日の大水害、床上浸水で、わが家は全てのものが水に浸かってしまいました。その後、共産党のポランテアの方が来てくれ、家財道具の片付けをお世話になりました。



私たちは二人とも身体障害者で、ベッドがなくなって不自由していたのを気にかけて下さり、帰ってから「鈴鹿で不要のベッドがあるがどうか」と連絡をいただきました。すぐに遠くから持って来て下さり、すぐ使えるよう組み立ててもらい、その日から安心して寝ることができました。

今でもそのベッドを使っていて、言葉では言いようもないほどうれしく、感謝しています。あとで市会議員の石田さんたちだったと聞いて、共産党の方は違うなと感心しました。

いっしょに考え、行動は先頭に

学童保育指導員 自由が丘在住 足立房枝さん

いまでは市の重要施策になっている学童保育も、14年前までは石薬師の「金太郎」だけでした。市の幹部が「学童保育って何や?」と言うほどで、市からの支援は何もありませんでした。そんな中、



石田議員は1期目の最初から学童保育のことを議会でも何度もとりあげていただき、また金太郎の園舎設置場所がしにも、私たちといっしょになって市と交渉してもらいました。

12年前にできた自由が丘団地の公園も、住民ぐるみの運動とともに、議会が開発業者と市の責任を問うた石田議員の活動もあって実現したことを、住民はおぼえています。いつも市民の声を聞きながら、先頭に立つてくれる石田議員を私は信頼しています。